

令和5年度(2023年度)

前期 シラバス

熊本県立農業大学校

令和5年度(2023年度)講義時間割 前期(4月~9月)

1年生(46期生)

		月曜日				火曜日				水曜日
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
1年 (46期生)	1限	食品加工論	全	交流館	深嶋	体育	全	グラウンド 体育館 CR6	福田 平野	経営
	2限	農業機械学	全	交流館	田中	外国人コミュニケーション		CR4	大西	経営
						外国人コミュニケーション		視聴覚	木村	
						中国語		CR3	路	
		英語		CR1	甲斐					
3限		経営実習					作物生産論 CR2 花き生産論 CR1 農業基礎概論 CR6 常緑・落葉果樹栽培論 CR3 (農特栽培基礎、花き栽培基礎、果樹栽培基礎、野菜栽培基礎、畜産概論) 野菜栽培各論 CR5 家畜飼養管理 CR4		経営	
4限		経営実習				経営実習			前半	経営

2年生(45期生)

		月曜日				火曜日				水曜日
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
2年 (45期生)	1限	体育	全	グラウンド 体育館 (大教室)	福田 平野	情報処理	A肉 果	PC室	大和	経営
						英語	進学	CR1	甲斐	
						農業簿記	農B 酪花		戸上	
	2限	国際農業論		CR5	本田剛	情報処理	農B 酪花	PC室	大和	経営
		英語		CR1	甲斐	農業簿記	A肉 果		戸上	
		外国人コミュニケーション		CR4	木村					
	3限	経営実習					農特ゼミ	農	PC室	月田
花きゼミ							花	その他	福島	
果樹ゼミ							果		坂本	
野菜ゼミ							野		稲田 浴野	
		畜産ゼミ	酪肉		川上 中村理					
4限		経営実習				経営実習			経営	

注1: は、必修科目。

注2: 「コース」欄は、「農」:農特産、「花」:花き、「果」:果樹、「野」:野菜A及びB、「酪」:酪農、「肉」:肉用牛で各コースの該当科目を表記。

注3: 「コース」欄の空欄は、全コースが該当科目。

コース	選択	教室	教官	木曜日				金曜日			
				コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官
実習	実用数学A	33人で分割	C R 2	矢野	国語				C R 1	藤吉	
	情報	33人で分割	P C 室	大和	くらしと言葉				C R 2	梅山	
					マナーと文書				C R 4	池田	
実習	情報	33人で分割	P C 室	大和	生物				C R 4	西尾	
	実用数学B	33人で分割	C R 2	加藤	基礎農業				C R 6	田崎	
実習	農業基礎概論 (農特栽培基礎、花き栽培基礎、果樹栽培基礎、野菜栽培基礎、畜産概論)	C R 6	作物生産論				経営実習				
			花き生産論								
			常緑・落葉果樹栽培論								
			野菜栽培各論								
実習	経営実習				経営実習						

コース	選択	教室	教官	木曜日				金曜日			
				コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官
実習	農特産経営論	農	E	C R 1	月田	海外実践学 視聴覚					
	花き経営論	花	E	C R 7	福島						
	果樹経営論	果	E	C R 3	坂本						
	野菜経営論	野	E	C R 5	浴野/稲田						
	家畜衛生論	酪肉		C R 4	中村理						
実習	農業団体・法人論				C R 6	本田健	病虫害論	農花 果野	C R 2 C R 5	松村 平八重	
	飼料作物学				酪肉	C R 3	古田				
実習	卒業論文	全	現場教室 P C 室	担任	経営実習						
実習	経営実習				経営実習						

学科名	コース名	科目区分	履修区分	授業科目名	履修学年	単位数	ページ
共通（全学科）		教養		体育（1年）	1	1	4
		教養		外国人コミュニケーションⅠ	1	1	5
		教養		英語Ⅰ	1	1	6
		教養		中国語Ⅰ	1	1	7
		教養		実用数学	1	1	8
		教養		国語Ⅰ	1	1	9
		教養		くらしと言葉	1	1	10
		教養		マナーと文書	1	1	11
		教養		生物（対象：農業高校出身者）	1	1	12
		教養		基礎農業（対象：農業高校出身者以外）	1	1	13
		教養	必修	情報処理Ⅰ	1	1	14
		教養		情報処理Ⅱ《集中講義》	1	1	15
		教養		体育（2年）	2	1	16
		教養		外国人コミュニケーションⅢ	2	1	17
		教養		英語Ⅲ	2	2	18
		教養		情報処理Ⅲ	2	1	19
		教養		海外実践学	2	1	20
		専門		食品加工論	1	1	21
		専門	必修	農業機械学	1	1	22
		専門		経営実習（食品加工実習）	1	—	23
		専門		経営実習（食品加工実習）	2	—	24
		専門		経営実習（農業機械基礎実習）	2	—	25
		専門		国際農業論	2	1	26
		専門	必修	農業簿記Ⅰ	2	1	27
		専門		農業団体・法人論	2	1	28
		専門	必修	卒業論文	2	7	29

共通（全学科）	専攻	必修	農業基礎概論	1	1	30
---------	----	----	--------	---	---	----

共通（農産園芸、野菜）	専攻	必修	病虫害論	2	1	31
-------------	----	----	------	---	---	----

農産園芸	農特産	専攻	必修	経営実習（農特産）	1	20(19)	32
		専攻	必修	経営実習（農特産）	2	28(26)	33
		専攻	必修	作物生産論	1	1	34
		専攻		農特産経営論	2	1	35
		専攻		農特ゼミⅡ	2	1	36
		専攻	必修	経営実習（花き）	1	20(19)	37
	花き	専攻	必修	経営実習（花き）	2	28(26)	38
		専攻		花き経営論	2	1	39
		専攻		花きゼミⅠ	2	1	40
		専攻	必修	花き生産論	1	1	41
	果樹	専攻	必修	経営実習（果樹）	1	20(19)	42
		専攻	必修	経営実習（果樹）	2	28(26)	43
		専攻	必修	常緑・落葉果樹栽培論Ⅰ	1	1	44
		専攻		果樹経営論	2	1	45
		専攻		果樹ゼミⅡ	2	1	46

野菜	共通	専攻	必修	経営実習（野菜）	1	20(19)	47
		専攻	必修	経営実習（野菜）	2	28(26)	48
		専攻	必修	野菜栽培各論Ⅰ（主要5品目）	1	1	49
		専攻		野菜経営論	2	1	50
		専攻		野菜ゼミⅠ	2	1	51

畜産	共通 （酪農、肉用牛）	専攻	必修	経営実習	1	20(19)	52
		専攻	必修	経営実習	2	28(26)	54
		専攻		家畜飼養管理	1	1	55
		専攻	必修	家畜衛生論	2	1	56
		専攻		飼料作物学	2	1	57
		専攻		畜産ゼミⅡ	2	1	58

（ ）は必修単位数

資格取得関連		無人ヘリコプター操作研修	1,2	—	59
資格取得関連		ドローン・マルチコプター操作研修	1,2	—	60

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	体育(1年)		教官名	平野 龍(NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク) 福田 貴文((一財)熊本県スポーツ振興事業団)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	屋内・屋外での実技(一部学科も含む)					
科目目標 (指導・到達目標)	各種目において基礎技能及び基礎体力向上に取り組み、コミュニケーション能力も培う。熱中症をはじめとした応急処置など、実際の農業に活かせる知識と技術を習得させる。					
テーマ及び概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理化、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献						
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 技術の習得 2 体力の強化 3 礼儀作法の習得 4 協調性を養う 5 各種スポーツの練習法 6 農業に生きる応急処置の知識と技術の習得			(1)集団訓練 ・ 団体行動の中で、自分の立場や態度を培う ・ 集団におけるルールやマナーについて考え、規範意識を向上し、社会に主体的に参加する態度を養う (2)バレーボール ・ サーブ、パス、レシーブの方法 (3)バスケットボール ・ ドリブルとパスの練習 ・ 攻撃技術とボールコントロール等の練習 (4)ソフトボール ・ キャッチボール、トスバッティングの方法 (5)サッカーボール ・ ボールコントロール及びシュートの練習の方法 ・ 戦術を工夫したゲームの展開 (6)その他 ・ 各種目におけるルールやマナーについて学びフェアなプレイを大切にする ・ 各種目における練習の計画・実践及び試合の企画運営を主体的に行う		
成績評価	<p>評価： 授業態度・出席状況・学科・実技試験など総合的に評価する</p> <p>注意： 授業への遅刻・早退・欠席、学科でのレポートやプリントの未提出、授業中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	外国人コミュニケーション		教官名	木村 美紀・大西 聖華	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義	【前半】テキスト(基礎部分)に沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 発表				
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	「自己探求」を通して「自己実現」へつなげる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	短期完成！ああ言えば即こう言う英会話10日間100本ノック 妻鳥 千鶴子(著) Jリサーチ出版					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	オリエンテーション			英会話を身につけることの必要性 コミュニケーション力が人生に及ぼす影響とは イエスorノーの疑問文に3秒で！		
講義日数に応じ て、(1)~(11)の進 行調整を行いま す。	テキスト:Day1: テーマ:「like」or 「don't like」 PW			いつ?どこ?どっち?なぜ?		
	テキスト:Day2: テーマ:好きなもの・行きたい場所と理由 PW			「何?(what)」で始まるいろんな疑問文		
	テキスト:Day3: テーマ:いろんな質問に答える PW			「誰?(who)」で始まるいろんな疑問文		
	テキスト:Day4: テーマ:いろんな質問に答える PW			「どう?(how)」で始まるいろんな疑問文		
	テキスト:Day5: テーマ:育ててみたい植物・作物と育て方 PW			canとcouldを使った疑問文		
	テキスト:Day6: テーマ:育ててみたい植物・作物と育て方 PW・発表			shallとshouldの疑問文		
	テキスト:Day7: テーマ:家族・友達にプレゼントしたいもの PW			willとwouldの疑問文		
	テキスト:Day8: テーマ:やってみたいこと PW・発表			mayとmightの疑問文		
	テキスト:Day9: テーマ:休暇の予定 PW			確認や同意を求める疑問文		
	テキスト:Day10: テーマ:休暇の予定・やりたいこと PW・発表			試験用紙返却 ・ 講義総括		
成績評価	評価:講義出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の 居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	英語		教官名	甲斐 知昭	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	4年制大学への編入試験を想定して、進学英語をマスターする。					
テーマ及び概要	馴染み深い内容を通して英文音読力を徹底的に強化することで、読解力・リスニング力を同時に向上させる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	Reading Links 2 Andrew E. Bennett 著 (南雲堂) テキストの前半部分を使用します。					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 英文音読力の強化			(1) 読解力の向上 (2) 音読速度を向上させることでの聴解力の向上 (3) 英語表現を体得させることによるコミュニケーション力の向上 取り上げる課題英文のシャドウイングもしくはオーバーラッピングに毎回挑戦し、それを評価の対象とします		
2. 語彙力強化 文法再構築			(1) TOEIC形式の問題への取り組み (2) 実用英語として使用頻度の高い英文法			
成績評価	評価: 定期試験(60%)、講義出席状況(10%)、音読テスト、提出物、その他(30%)					
	注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	中国語		教官名	路 菁	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち2回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	中国語の発音の仕方ができる 日常的に使われている挨拶表現ができる					
テーマ及び概要	農業の国際化対応の一環として日本文化の源流をなす中国について、中国語の学習を通じて理解を深める。 特に会話の学習にあたっては、正しい発音をマスターさせる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	中国語10課 (白水社)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 中国語の基礎			(1)中国語の発音の仕方 (2)中国漢字と日本漢字		
2 日常の挨拶			(1)日常的に使われている挨拶表現 (2)自己紹介・家族紹介			
成績評価	評価: 講義出席状況、試験成績、授業態度 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。 特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	実用数学		教官名	矢野 信司朗 加藤 義和	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義及び演習 2クラスに分かれて、実施する。					
科目目標 (指導・到達目標)	計算力の向上と物事を処理する能力の向上を目指し、数学に対する自信を持たせる。					
テーマ及び概要	農業及び生活を営むうえで必要な数学的知識を習得させると共に考え方を鍛える。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	教材による学習					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 復習編			(1)基礎計算の練習 (2)濃度算 (3)面積の計算 (4)速さ・距離・時間 (5)ものの値段と個数 (6)定価・原価・利益(損益算)、分割払い (7)仕事算・水槽算		
	2 応用編			各種データの取り方と活用方法		
成績評価	<p>評価:出席状況、試験成績、授業態度</p> <p>注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	国語		教官名	藤吉 利男	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	13回
授業形態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	語彙、表記、表現に留意し、論点を明確にした文章が書けること					
テーマ及び概要	<p>テーマ「論理的な文章の作成能力の育成」</p> <p>概要 まず、文章を書く前段階の基礎的な国語力を養成する。 次に論理的な文章の「型」を学習し、その後、より高度な論理的な文章が書けるようになることを目標とする。</p>					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	配布プリント					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 基礎レッスン編			(1)漢字・語彙 (2)表記 (3)表現 (4)まとめ		
2 表現レッスン編			(1)ウォームアップ (2)文章の書き方 (3)作文実践			
成績評価	<p>評価: 演習における課題提出及び内容による評価・期末試験成績</p> <p>注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いにする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	くらしと言葉		教官名	梅山 みどり	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験を含む)	13回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	本科目は社会人として必要とされる国語力の基礎を育成するものである。豊かな言語感覚を養い、目的に応じて的確に読み取る能力、自らの考えを表現する能力を育てることを重視する。					
テーマ及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中の日本語の常識を身に付ける ・文章を書く上での基礎知識や方法を学ぶ。 					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	『日本語検定 これならわかる図解日本語』(東京書籍)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 手紙の書き方			お礼の手紙の書き方		
	2 敬語			敬語をつくる 尊敬語と謙譲語の区別 敬語を使う場面		
	3 文法			文法って何？ まちがいやすい文法		
	4 くらしの中の言葉			慣用句・ことわざ 文字・漢字 言葉の意味 いろいろな言葉		
成績評価	評価: 定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	マナーと文書		教官名	① 池田 充子(マナー編) ② 稲田 博子(文書編)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	13回
授業形態	講義形式及び実践演習					
科目目標 (指導・到達目標)	① 社会人としてのビジネスマナーとコミュニケーションを身につけると共に、就職活動に必要な書写、及び履歴書作成、面接対応が出来る事を目標とする。 ② 「文字を正しく整えて、読みやすく、速く書くこと」を学び「書く」という美しさを理解し応用的に表現できる					
テーマ及び概要	① 社会人として必要なスキル(ビジネスマナー、コミュニケーション、言葉遣い、電話対応、ビジネス文書の取り扱いとメールの書き方、面接における所作、挨拶の仕方を学ぶ) ② 硬筆の基礎(楷書・行書・横書きの文章)と実技					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	マナー編：① プリントを配布 文書編：①プリントを配布					
講義 スケジュール (順番は前後することがあります)	大項目			小項目		
	【マナー編】オリエンテーション			職場でのビジネスマナー(挨拶、身だしなみ)		
【マナー編】 正しい言葉遣いと敬語のルール 職場でのコミュニケーション ビジネス文書及びメールの書き方 電話の対応(基礎) 電話の対応(演習)			言葉遣いと敬語、クッション言葉、 報告・連絡・相談 文書の種類とメールのルール 電話の受け方・かけ方 基礎 電話の受け方・かけ方 演習			
【文書編(第1回)】 「書く」という事について考える 文字の歴史、漢字の歴史			授業の取り組みの説明 書体の変遷について (実技)自分の名前を書く			
【文書編(第2回)】 楷書、行書(ボールペン及び鉛筆)			筆記具について考え、楷書と行書の特長を知り使い分ける			
【文書編(第3回)】 平仮名、カタカナ、数字、アルファベット			封筒の宛名の書き方・フェルトペンを使って 研修記録簿の書き方①			
【文書編(第4回)】 漢字仮名交じり文を書く 応用・ロゴ作成			研修記録簿の書き方② 全体構成 フェルトペンを使って			
【マナー編】 自己分析と履歴書の書き方 就職対策演習① 就職対策演習② 試験			履歴書の書き方⇒(夏休み課題)履歴書作成 面接実践(書き方と面接の身だしなみ) 面接実践(グループと個人)			
成績評価	【マナー編】 定期試験(60%)、講義出席状況・講義内での小テスト・レポート・講義への取り組み状況(平常点40%)により、総合的に評価する。(100点満点) 【文書編】 自分の名前(楷書・行書)が書ける。◎○△で評価。 封筒の宛名の書き方(フェルトペンを使って体裁よく書ける)◎○△で評価。 研修記録簿の全体構成ができ、体裁よく書ける。◎○△で評価。 【注意】 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、指導に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	生物		教官名	西尾 嘉郎	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	13回
授業形態	講義およびグループワーク					
科目目標 (指導・到達目標)	高校で学んだ生物の基礎をおさらいする。					
テーマ及び概要	1 生物の多様性を知り、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など、農業とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	「改訂新編 生物基礎」 東京書籍					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 生物の特徴			(1)生物の共通性としての細胞 (2)エネルギーと代謝、酵素のはたらき (3)生体内におけるエネルギー変換 (4)葉緑体とミトコンドリア		
	2 遺伝子とそのはたらき			(1)遺伝情報とDNAとゲノム (2)遺伝情報の分配 (3)遺伝情報とタンパク質合成		
	3 生物の体内環境の維持			(1)体内環境の特徴 (2)体内環境を維持する仕組み (3)免疫		
	4 生物の多様性と生態系			(1)植生の多様性と遷移 (2)生態系と食物連鎖		
成績評価	<p>評価: 定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。</p> <p>注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	基礎農業		教官名	田崎 弘	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	13回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	農業が担う重要な役割を理解するとともに、農業に何が求められているかを考える。また、農業を始めるにあたっての基礎知識を学ぶことで、本校で学ぶ専門講義や経営実習を円滑に受講できるようにする。					
テーマ及び概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業・農村の役割と暮らしについて理解する。 2 作物栽培や家畜飼養に関する基礎知識を修得する。 3 農業用語の基礎知識を学ぶ。 					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	新版農業の基礎 農文協発行 新聞等の情報を活用、講義プリント					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの暮らしと農業 2 栽培・飼育の基礎 3 栽培の実際 4 飼育の基礎と実際 5 農業・農村と私たちの暮らし 6 農業用語の基礎知識 			<ol style="list-style-type: none"> (1) 動植物の生き方と栽培・飼育 (2) 栽培・飼育のしくみと技術 (3) 栽培環境と環境保全型農業の基礎 (1) 種子を利用する植物の栽培と利用(イネ、コーン、大豆) (2) 果実を利用する植物の栽培と利用(果菜類) (3) 葉や茎、根を利用する植物の栽培と利用(葉菜類、根菜類) (4) 草花・ハーブの栽培と利用 (5) 栽培の基礎実験 (1) 飼育の基礎 (2) 飼育の基礎実験 (1) 地域の自然環境と地域農業 (2) 我が国と世界の食料・農業・農村 (3) 広がる農業・農村の役割 		
成績評価	評価: 中間試験(50%、選択式)、期末試験(50%、小論文)により評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	情報処理		教官名	大和 浩成((有)マリオネット) 木村 美月((有)マリオネット)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は試験を含む)	14回
授業形態	パソコンを使用し、講義と演習を併用する。					
科目目標 (指導・到達目標)	パソコンの基本操作及びWordを利用したビジネス文書やレポートの作成					
テーマ及び概要	パソコン基本操作の習得 Wordを使ってビジネス文書やレポート作成できるようにする。 最終的にはWord検定3級または2級レベルの問題を実施する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	オリジナルテキストWord基礎 (マリオネット) オリジナルテキストWord応用 (マリオネット)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. パソコンの基本操作			・パソコン室環境設定の説明と起動・終了 ・キーボードの基本操作と入力練習用ソフトを使って文字入力		
2. ワープロの操作方法			・Wordの基本操作 ・入力と変換の解説 ・文書の編集 ・罫線機能を使って表の作成 ・グラフィックスの利用			
3. 様々な形式の文書の完成を試みる						
4. SmartArtやグラフなどの図解を利用した表現力のある文章の作成						
5. 他のアプリケーションデータの挿入						
成績評価	評価: 講義出席状況・課題提出・試験成績 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	情報処理		教官名	大和 浩成((有)マリオネット) 木村 美月((有)マリオネット)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	10回 7月に集中 講義として 実施
授業形態	パソコンを使用し、講義と演習を併用する					
科目目標 (指導・到達目標)	パソコンを業務として使えるように表計算ソフトを利用して、計算表やグラフ作成ができるようにする。 最終的には、Excel検定3級または2級レベルの問題を実施する。					
テーマ及び概要	パソコン基本操作の習得 Excelを使って計算表やグラフ作成ができるようにする。 最終的にはExcel検定3級または2級レベルの問題を実施する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	オリジナルテキストExcel基礎 (マリオネット) オリジナルテキストExcel応用 (マリオネット)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 表計算ソフトの基本操作			<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトExcelについて ・Excelの基本操作及びWordとの違い ・セルへのデータ入力の方法と編集 ・表の作成・編集(主に書式設定) ・数式と関数(通常よく使う関数) ・グラフ作成の基礎 		
	2. 表計算ソフトの高度な機能			<ul style="list-style-type: none"> ・高度な関数のつかいかた ・データベース基礎 ・グラフの応用 ・ユーザー設定について 		
	3. 入力をより効果的に行う為の機能					
成績評価	<p>評価: 講義出席状況・課題提出・試験成績</p> <p>注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び 携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	体育(2年)		教官名	平野 龍(NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク) 福田 貴文((一財)熊本県スポーツ振興事業団)	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	10回
授業形態	屋内・屋外での実技(一部学科も含む)					
科目目標 (指導・到達目標)	各種目において基礎技能及び基礎体力向上に取り組み、コミュニケーション能力も培う。熱中症をはじめとした応急処置など、実際の農業に活かせる知識と技術を習得させる。					
テーマ及び概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理化、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献						
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 技術の習得	2 体力の強化	3 礼儀作法の習得	4 協調性を養う	5 各種スポーツの練習法	6 農業に生きる応急処置の知識と技術の習得
成績評価	<p>評価： 授業態度・出席状況・学科・実技試験など総合的に評価する</p> <p>注意： 授業への遅刻・早退・欠席、学科でのレポートやプリントの未提出、授業中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	外国人コミュニケーション		教官名	木村 美紀	
	履修学年	2年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	10回
授業形態	講義	[前半]テキストに沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 [後半]テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 発表				
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	英語での「自己表現力」、「質問力」を磨く。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	短期完成！すぐに使える英会話 妻鳥 千鶴子(著) Jリサーチ出版					
講義 スケジュール 講義日数に応じて、(1)～(10)の進行調整を行います。	大項目			小項目		
	オリエンテーション			英会話を身につけることの必要性		
	テキスト:Day1:			欲求・願望「～したいです」		
	テキスト:Day2:			依頼「～してくれますか」		
	テーマ:Your experience(経験) GW			今までに育てた植物・農作物・動物について		
	テキスト:Day3:			許可「～してもいいですか」		
	テーマ:Your experience(経験) 発表			今までに育てた植物・農作物・動物について		
	テキスト:Day4:			賛成・反対「～に賛成・反対です」		
	テーマ:Genetic recombination(遺伝子組み換え)について 個人・PW			知識・教養(個人で検索 発表・情報共有)		
	テキスト:Day5:			思う・考える「～と思う」		
	テーマ:Genetic recombination(遺伝子組み換え)について 2GW・発表			ディベート(GW:賛成派・反対派に分かれて意見発表)		
	テキスト:Day6:			意思「～するんだ」		
	テーマ:Produce(生産する) 個人・PW			自身が生産したい農作物・加工品などについて		
	テキスト:Day7:			確認・問い合わせ「～をおたずねします」		
	テーマ:Produce(生産する) GW・発表			自身が生産したい農作物・加工品などについて		
テキスト:Day8・9			命令「～してください」 疑問1「～ですか」			
テーマ:Croudfunding(クラウドファンディング) 個人・PW			日本のクラウドファンディングで支援してみたいプロジェクト			
テキスト:Day10:			疑問2「5W1Hを聞く」			
テーマ:Croudfunding(クラウドファンディング) GW・発表			海外のクラウドファンディングで支援してみたいプロジェクト			
テキスト:Day11:			喜び・悲しみ「～してうれしい・悲しい」GW			
テキスト:Day12:			あいづち・話題転換「そうね」			
テーマ:世界のクラウドファンディングサイトで自分のつくったものを売ってみるプロジェクト			仮想店舗のオーナーになってみる			
テキスト総括 ・ 定期試験 試験用紙返却 ・ 講義総括						
成績評価	評価:講義出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	英語		教官名	甲斐知昭	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	22回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	4年制大学への編入試験の直前対策として、進学英語をマスターする。					
テーマ及び概要	既に日本語でその知識を得ている種々の社会問題を英語を通して学ぶことで新たな見地を獲得し、同時に英語読解力、語彙力を高める。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	Our World Today Adam Murray、Anderson Passos 著 (南雲堂)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 英文読解力の向上			(1)環境問題、人口爆発、少子化問題etc. 種々の社会問題を英語を通して学ぶ (2)関心を持った社会問題を各自掘り下げ 話題力の向上につなげる		
	2. 英語表現力の向上			(1)身近であったり関心あるテーマを学ぶ ことで、英語におけるその表現方法に関心を 寄せる		
	2. 語彙力強化 文法再構築			(1)各種検定試験形式問題への取り組み (2)実用英語として使用頻度の高い英文法 の獲得		
成績評価	評価: 定期試験(60%)、講義出席状況(10%)、音読テスト、提出物、その他(30%) 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	情報処理		教官名	大和 浩成((有)マリオネット) 木村 美月((有)マリオネット)	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	パソコンを使用し、講義と演習を併用する。					
科目目標 (指導・到達目標)	パソコンを業務として使えるようにプレゼンテーションソフトを利用して、効果的なグラフや表、発表資料を作成できるようにする。 最終的には、プレゼンテーションの実施方法を学習する。					
テーマ及び概要	パワーポイントを利用してプレゼンテーション資料を作成し、効果的なプレゼンテーションの実施方法を学習する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	オリジナルテキストPower Point基礎～活用(マリオネット)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. プレゼンテーションソフトの基本操作			<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトPower Pointについて ・Power Pointの基本操作 ・プレゼンテーション資料作成 ・資料の印刷 ・資料のブラッシュアップ ・グラフや図形の挿入 ・オートシェイプの利用 ・クリップアートの利用 ・表の作成 		
2. プレゼンテーションのリハーサル			<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションで重要なこと ・プレゼンテーション能力の活用 			
3. 作成資料でプレゼンテーションの実施			<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション本番練習 			
成績評価	<p>評定：講義出席状況・課題提出・試験成績 注意：受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	海外実践学		教官名	繁村 卓・野口 尚裕	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	全11回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	海外でのファームステイや大規模農場等の視察を通じて、海外の農業等に関する理解を深め、また、異文化の生活体験を通して、主体的に問題を解決する力を高め、将来を創造する能力と実践する態度を養う。					
テーマ及び概要	渡航手続きの方法、海外研修の心構え、訪問国の概要、訪問先での会話等について学ぶ。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	新・よくわかる農政用語 (全国農業会議所) 英会話関係教科書、外部講師作成資料等 訪問先関係資料					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 海外研修の意義・目的			(1)海外で研修する意義 (2)海外農業研修のポイント		
	2 オーストラリアの農業情勢・視察先の紹介			(1)地理、歴史、文化 (2)農業の概要 (3)前年度引率教官による視察先の紹介		
	3 訪問先での簡単な言葉と会話 (直前英会話レッスン)			(1)ファームステイ先での会話 (2)空港、ホテル、ショッピング等での会話 等		
	4 ファームステイの実際			(1)ファームステイでの心構え (2)ファームステイで学ぶこと (3)ファームステイ先への挨拶状		
	5 自主研修のプラン作成			(1)班決め (2)班ごとの視察プラン作成		
	6 渡航手続きの実際			(1)パスポートの取得 (2)査証(ビザ)について (3)出国と入国 (4)持ち出し物と持ち込み物		
	7 海外農業研修報告書の作成					
成績評価	評価: 講義出席状況、提出物状況、講義のレポートや講義への取り組み状況等 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。 特に、スマートフォンの使用については注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	食品加工論		教官名	深嶋 ひとみ	
	履修学年	1学年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	前期14回
授業形態	講義、演習					
科目目標 (指導・到達目標)	農畜産物の保存・加工・流通と栄養に関する知識を高める。					
テーマ及び概要	食を取り巻く状況の変化等について関心をもつとともに、農畜産物の特性と加工の原理を理解し活用する知識と技術を習得する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	「食品製造」、担当教官作成テキスト					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1	食品製造の意義と動向	(1)食品製造の意義 (2)食品産業の現状と動向			
	2	6次産業化、農商工連携の動き	(1)取り組みの背景と課題 (2)県内での取り組み事例			
	3	食品の変質防止と品質保持	(1)食品の変質とその原因 (2)食品の貯蔵法 (3)食品衛生、食中毒、安全確保等			
	4	原料特性と加工法	(1)穀類、野菜、果実、畜産物の特性と加工技術 (2)副材料(油脂、調味料)等の特性と加工技術			
	5	加工食品の製造・販売	(1)食品営業許可 (2)加工施設の衛生基準			
	6	加工食品の規格・表示と安全性	(1)食品表示法と表示基準 (2)表示マーク			
成績評価	<p>・定期考査(70%) + 小テストの成績及び企画書の提出(20%) + 出席状況や受講態度(10%)等により総合的に評価する。</p> <p>・授業数の2/3以上の出席のないものは、成績評価の対象にしない。</p> <p>・注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンやイヤフォンの使用について、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	農業機械学		教官名	田中 修作	
	履修学年	1学年 全学科	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	前期14回
授業形態	講義形式				実務経験のある 教員による授業	
科目目標 (指導・到達目標)	農業機械の取扱いの基礎知識習得、農作業安全への意識啓発、農業機械への興味喚起					
テーマ及び概要	<p>農業機械は、現代の農業経営において必要不可欠な存在であるが、効率的な活用や管理などの知識に加えて安全に取扱うための知識も必要である。</p> <p>そこで、本講義では、農業経営の効率化を進めるために必要な農業機械の基礎知識と、安全で快適な農作業を行うための基本的な知識について講義を通して学ぶ。</p>					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	<p>新版 農業機械の構造と利用(農文協) 各種農業機械(トラクタ、カットエンジン等)、燃料、工具・部品等</p>					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 農業機械とは			農業機械の役割と効率的利用		
	2 農作業安全と事故防止策について			(1) 農作業事故の現状と傾向 (2) 事故の発生要因と安全対策		
	3 トラクタの構造と機能、操作について			(1) トラクタの基本構造と機能 (2) トラクタの基本操作と安全作業 (3) トラクタの整備とタイヤ、バッテリー等の取扱い (4) 工具、機械部品の取り扱い		
	4 原動機の構造と特徴について			(1) 燃料、潤滑油の種類と特性 (2) 4サイクルガソリンエンジン (3) 2サイクルガソリンエンジン (4) ディーゼルエンジン (5) 電動機		
	5 作業機の構造と利用について			各種作業機の種類と役割(耕うん)		
	6 農業の機械化計画について			農業機械化体系の作成方法		
	7 その他			農業機械に関する動画放映・定期試験前の小テスト		
成績評価	<p>評価: 定期試験(筆記)、定期試験前の小テスト、出席・受講状況 注意: レポート、プリントの未提出、講義への遅刻、早退、欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合は、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	食品加工実習		教官名	深嶋ひとみ	岩木 秀生
	履修学年	1学年	単位数		講義回数予定	8回
授業形態	実習、講義、現地事例研修					
科目目標 (指導・到達目標)	加工実習を通して農産物の特徴や活かし方を理解させ、食関連ビジネスへの関心と興味を高める。					
テーマ及び概要	農大生産物を活用した加工実習を通して、生産物の特性や品質に対する関心を高める。生産物が加工技術により、形や物性を変える面白さを体験させる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	担当教官作成テキスト					
講義 スケジュール	大項目(素材)			小項目		
	1	野菜類の加工		(1) トマトのジュース・ピューレ・ソース・ケチャップ (2) いちごジャム (3) 焼肉のたれ・ドレッシング		
	2	果実類の加工		(1) 梨ゼリー (2) 柑橘ピール (3) 果実の一次加工(加糖冷凍梨、梅ピューレ)		
	3	穀類の加工		(1) 小麦粉の発酵と焼成(ピザ・パン等) (2) 焼き菓子(スコーン・ケーキ等)		
	4	乳・畜肉加工		(1) アイスクリーム (2) 生キャラメル (3) ベーコン(畜産学科のみ)		
	5	現地事例研修		県内農業法人、観光農園等の取り組み視察		
成績評価	<p>・当該実習は、経営実習の時間で行う。</p> <p>・当該実習分の評価は、出席状況(40%) + 知識技術(30%) + 履修態度等(30%)により、総合的に評価する(100点満点)。</p> <p>・当該実習の出席率が80%未満のものは、出席状況の配点を0点とする。</p> <p>・注意: レポートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、実習中の怠慢、私語等は減点とする。特に、スマートフォン、イヤフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p> <p>・科目担当教官は、当該実習分の評価を担当に渡し、担任は、経営実習や農家派遣研修と合算し、「経営実習」として最終的に評価する。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	食品加工実習		教官名	深嶋 ひとみ 岩木 秀生	
	履修学年	2学年	単位数	-	講義回数予定	10回
授業形態	実習					
科目目標 (指導・到達目標)	農業の6次産業化に対応できる人材育成を目的に、自ら生産した農産物を活用した加工食品の商品開発・製造・販売に関する実践学習を行う。					
テーマ及び概要	(1)農大農産物を使った商品企画と製造実習 (2)プロジェクト課題(卒論)とリンクした新商品開発や加工特性調査 (3)企業等との連携による6次産業化実践学習					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	担当教官作成テキスト					
講義 スケジュール	大項目(素材)			小項目		
	1 農大農産物を使った商品企画と製造実習・販売			(1)菓子・ソース類・ジェラート等の加工 ア 野菜類の加工 トマト・いちご等 イ 穀類加工 小麦・米粉 ウ 果実類の加工 梅・梨・桃・不知火・晩柑等 エ 乳加工 牛乳・バター・ヨーグルト (2)消費者との交流を目指した販売実習 農大マルシェ・黒石原祭		
	2 プロジェクト課題(卒論)とリンクした新商品開発や加工特性調査			(1)加工を含むプロジェクト課題を設定している学生を対象とした個別指導		
	3 県内企業等との連携による6次産業化実践学習			(1)企業等の講義・交流 食品企業技術者等による実技指導		
成績評価	・注意:レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、実習中の怠慢、私語は減点とする。特に、スマートフォン、イヤフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)案

講義科目	科目名	農業機械応用実習 ()		教官名	田中 修作 後藤 洋一郎 沢田 明雄 重松 修	
	履修学年	2学年 (希望制)	単位数	単位なし (経営実習扱い) のけん引免許 取得者は 加算単位1	講義回数 (2項目)	実習 : 3回 実習 : 4回
授業形態	実習形式(2項目)					
科目目標 (指導・到達目標)	実習 : 農耕用けん引車で道路交通法に基づいた安全走行ができ、免許が取得できる。 実習 : 小型単体エンジン(ガソリン・ディーゼル)の分解・組立整備と工具等の取扱いができる。					
テーマ及び概要	乗用トラクタの応用操作として、大特免許取得者に農耕用けん引車で路上走行をする際の安全な運転操作技術を習得させ、けん引(農耕車限定)免許を取得させる。 また、農業機械整備の応用として、多くの農業機械の動力源であるエンジン(ガソリン・ディーゼル)の構造と構成部品の働きを理解するとともに、各種工具類・点検測定用器具の使用方法を習得させ、農業機械の整備作業に慣れることで、就農・就職時の実践力を高める。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	乗用トラクタ及び運搬トレーラ、小型単体エンジン(ガソリン/ディーゼル)・交換部品、点検・整備用工具、燃料(ガソリン・軽油・灯油・BDF)、各種エンジンオイル等、ウエス、カットエンジン、パソコン、プロジェクター、マイク等					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 農業機械応用実習 (農作業安全講座:けん引) 3回開催(各6日) (1)7月7日(金)、10日(月)~14日(金) (2)9月1日(金)、4日(月)~8日(金) (3)12月8日(金)、11日(月)~15日(金)			(1)けん引車の基本操作、乗降車・始動手順等 (2)けん引車による後進、方向転換(車庫入れ) (3)道路交通法に基づいたコース走行 (4)けん引車(農耕用)走行中の安全確認 (5)安全かつ円滑な走行(模擬試験) (6)適性試験(視力・深視力等) (7)実技試験(けん引免許検定試験)		
2 農業機械応用実習 (エンジン分解・整備) ただし、選択希望制 G.空冷ガソリンエンジン 4回開催(各3日) (G.ガソリン4回) (1:G1)5月8日(月)、10日(水)終日 (2:G2)5月17日(水)終日、19日(金) (3:G3)6月7日(水)、8日(木)、12日(月) (4:G4)6月21日(水)、22日(木)、 23日(金)			(1)エンジン(ガソリン)のしくみ (2)工具・測定器具の種類と取扱い方法 (3)エンジンの分解・各部品の洗浄 (4)排気量、吸排気弁頭すき間等の計測 (5)エンジンの組立・調整 (6)燃料(ガソリン・軽油・灯油・BDF)の取扱い (7)エンジンオイルの特徴、機能について (8)エンジン始動・停止確認 (9)ガバナ及びスロー調整			
成績評価	実技試験 実習 : けん引(農耕車限定)免許検定試験(免許センターによる出張試験) 携帯電話(スマートフォン)の使用は厳禁とする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	国際農業論		教官名	本田 剛司	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	10回
授業形態	講義及び演習方式					
科目目標 (指導・到達目標)	1 国際人としての素養感覚の涵養 2 米国、中国等主要国と日本農業との比較理解					
テーマ及び概要	世界の中の日本農業のあり方を考えるとともに、特に影響のある国の農業について学習する。また、国際農業交渉TPP、FTA等の基礎について学習し学生自らが国際人としての自覚と広い視野を学ぶ機会とする。 1 国際感覚入門、国際人としての素養を理解する 2 国際農業交渉の歴史とTPPの行方と交渉内容その日本の農業への影響 3 (1) アメリカの農業、アメリカ農村生活輪読等 (2) EUの農業等、特に直接払い制度の現状 (3) 中国の農業、食の安全への取組等 (4) 輸出産業としての日本農業の課題と対応について (5) オーストラリアの農業の実力					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	日々の講義レポート 国、県の発行する施策情報等資料及び新聞、インターネット情報、 「新・よくわかる農政用語」(全国農業会議所) 等					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 国際感覚入門			(1)日本人の国際感覚は、日本と諸外国を比較して学ぶ (2)外国から見る日本		
2 国際農業交渉とTPP及び日本農業への影響			(1)WTOとは、TPPとは。基礎理解 (2)国際貿易交渉への日本の対応について (3)国際貿易への各国への対応の違いについて			
3 輸出の理解			(1)農産物輸出の課題と対応について			
4 主要国の農業			(1)アメリカの農業 ア アメリカ農業の特徴 イ アメリカ農村生活について学び比較する視野を広げる (2)EUの農業等 ア EU農業の現状 イ 直接支払いへの取組 (3)中国の農業 ア 中国農業の現状 イ 食の安全への取組 (4)オーストラリアの農業 ア オーストラリア農業の弱点			
5 農政用語解説			国際農業理解のための基礎用語理解			
成績評価	講義出席状況、定期試験成績、レポート提出回数 注意：レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	農業簿記		教官名	戸上 肇	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	テキストを中心に展開し、平行して演習を行う。					
科目目標 (指導・到達目標)	複式農業簿記の原理を理解し、演習することにより、記帳の習慣を身につけ、将来の農業経営に役立てる。					
テーマおよび概要	テキストと問題集をスケジュールごとに併用して理解を深める。 各農家の経営状態によって勘定科目が異なることを理解して演習をする。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	農業簿記検定 教科書3級 (大原出版) 農業簿記検定 問題集3級 (大原出版)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 農業簿記の概要			簿記とは 農業とは 農業簿記の目的		
	2 簿記一巡の手続き			取引とは 仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳伝票とは 主要簿と補助簿 試算表		
	3 勘定科目			農業簿記の勘定科目 農業経営と勘定科		
	4 収益・費用の記帳方法			収益と費用 農業特有の会計処理		
	5 流動資産・流動負債など			流動資産 棚卸資産 繰延資産 流動負債 固定負債 資本金		
	6 固定資産			有形固定資産 修繕費と資本的支出 有形固定資産の売却		
	7 決算書の作成			決算書作成までの手順 決算の具体的手続き		
	8 まとめ			農業簿記全般のまとめ		
成績評価	<p>評定：定期試験と講義中の態度および出欠状況</p> <p>注意：受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	農業団体・法人論		教官名	本田 健志	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	計 12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	JA(農業協同組合)の目的と理念を正しく理解する。 また、2019年4月から順次施行されている「働き方改革」の意義や労務管理の重要性を理解して、発展性のある農業経営を実現する第一歩とする。					
テーマ及び概要	農村社会を支えるJA(農業協同組合)について、設置の目的や役割、組織の運営状況、事業内容並びに今後の課題等を体系的に学ぶ。 将来、農業経営者となった時、労働環境の改善等を自ら実践することにより産業としての農業の魅力アップを図るため、労働雇用関連法や「働き方改革関連法案」等について学ぶ。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	「私たちとJA」13訂版(全国農業協同組合中央会発行) 「農業こそが日本を救う! ~働き方改革で農業を新しい産業にしよう! ~」(熊本県農業協同組合中央会発行) 「まんがでわかる! 農業版! これから人を雇うときのポイント40」(熊本県農業協同組合中央会発行)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 JA(農業協同組合)について			(1)JAのあらまし (2)JAの生い立ちと歩み (3)JAの組織・運営 (4)JAの事業と活動 (5)持続可能な農業・地域共生の未来づくり		
	2 農業における「働き方改革」について			(1)「働き方改革」の意義 (2)魅力的な求人条件を整えるために (3)良い人材育成は良い職場環境から		
	3 雇用のための労務管理について			(1)人を雇う心構え (2)求人・面接する際のポイント (3)雇用のために整備すべきこと (就業者が安心して働ける労働環境づくり) (4)就業者がやる気をだす労働環境づくり		
成績評価	評価:定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和4年度(2022年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	卒業論文		教官名	川上 純史 中村 理樹	
	履修学年	2年	単位数	7単位	講義回数予定	42回
授業形態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	各講義で使用するテキストと教材 畜産関係文献					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 パソコンを使ったデータ処理 統計処理やグラフなどの図形作成 写真奈での撮影と整理		
	3 文献、参考図書の利用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成績評価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	農業基礎概論(1年生)		教官名	(農産園芸)中村、渡邊、清水 (野菜)加久、宮本 (畜産)北	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は講義説明会)	14回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	農業各分野に関する幅広い知識を習得することで、多角的な視野をもって活躍する人材を育成する。					
テーマ及び概要	講義を通じ各学科・コースの取り組み内容の理解醸成。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	各学科・コースの担当教官が作成するテキスト等					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1	ガイダンス		(1) 講義の目的 (2) 今後のスケジュール		
	2	花きに関する概論		(1) 花き栽培基礎 周年生産と需要が多い花 (2) 花き栽培基礎 花の育種とプラントハンター		
	3	農特産に関する概論		(1) 土地利用型作物(米、大豆、茶等)の生産と利用 (2) 農特産コースのプロジェクト内容紹介		
	4	果樹に関する概論		(1) 果樹の種類と特徴 (2) 果樹の栽培特性と良果多収の基本		
	5	野菜に関する概論		(1) 野菜の種類と特徴 (2) 野菜の生産と栽培特性		
	6	畜産に関する概論				
成績評価	<p>評価:各学科・コース毎に小テストやレポート、出席状況等により総合的に評価する(100点満点)。最終評価は、各学科・コースの評価を集計して行う。 注意:講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。 資格取得等により欠席(公欠)する学生が多数になると想定されるので、講義回毎に評価することを基本とする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	病害虫論		教官名	松村 正哉(虫害) 平八重 一之(病害)	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	11回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	作物の病害虫防除管理を遂行するうえで必要不可欠な基礎知識を習得する。また実際の防除例を学ばせ、防除に対する多様な発想、考え方を身につけさせる。					
テーマ及び概要	作物病害虫の防除管理は農作物の生産安定に不可欠である。近年、侵入病害虫の頻発や作物の高品質化を求める消費者の動向のため、対応が必要な病害虫は増加し、その発生様相も複雑化する傾向にある。一方では食の安全・安心や周辺環境への影響防止の観点から効率的な農薬使用が求められるようになってきており、農薬のみに頼らない総合的病害虫管理法(IPM)の推進が益々重要になっている。その対応に当たって必要となる作物病害虫の発生生態、また農薬の特性や安全使用等、具体的な防除管理に必要な基礎知識を学習し、人と環境にやさしい農業への取り組み等を志向する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	配布プリント					
講義 スケジュール	大項目		小項目			
	1. 害虫概論		(1) 農作物の害虫とは ーなぜ害虫はうまれるかー 侵入害虫、共進化、共生 (2) 昆虫の生理・生態 ホルモン、フェロモンなど (3) 総合的害虫管理法(IPM):理論 (4) 総合的害虫管理法(IPM):実践 耕種的防除、天敵利用 (5) 農薬の基礎知識:その役割と安全使用			
2 病害概論		(1) 農作物の病気とは (2) 病原の種類と性質 (3) 病気の診断法 植物診断、圃場診断、病原体の同定 (4) 病気の発生生態 伝染源、伝搬方法、発生環境 (5) 病気の防除法 耕種的防除、総合防除(IPM)				
成績評価	講義出席状況、期末試験成績、授業態度 定期考査 + 小テストの成績及び出席状況や講義態度などにより総合的に評価する。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(農特産)		教官名	中村 浩一	
	履修学年	1年	単位数	単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習					
科目目標 (指導・到達目標)	農大で栽培する土地利用型作物や工芸作物の栽培方法及び肥培管理技術を習得し、プロジェクト学習の専攻作物を実際に栽培できるようになる。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、農業者として身に付けておくべき、農作物(特に水稲、麦、大豆、たばこ、いぐさ、茶)の栽培管理及びほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶ。特にプロジェクト学習における専攻作物については重点的に管理技術を学ぶ					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	ほ場における育苗、栽培管理 農業機械や各種資材具等を使用しての管理実習					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1	ほ場栽培管理		(1)ほ場及び周辺の除草 (2)耕起・整地・代かき・畝立て等作物栽培に必要なほ場管理		
	2	作物栽培管理 (プロジェクト学習)		(1)作物播種・育苗管理 (2)水管理、施肥管理 (3)生育調査及び調査データ処理 (4)収穫、乾燥、出荷・調整作業 (5)品質鑑定 (6)土壌分析による施肥設計 (7)病虫害防除		
	3	特産加工		(1)製茶技術の基礎 (2)仕上げ作業		
	4	生産物販売		(1)各品目の選果及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
成績評価	評価:知識・技術(30%)、履修態度(30%)、出席状況(40%)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(農特産)		教官名	月田 裕人	
	履修学年	2年	単位数	28単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	各自が取り組むプロジェクトの品目について、常に調査と観察を行うことを基本に栽培技術について知識を深めるとともに、天候などの変化に対応し、的確な栽培管理ができるようにする。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、農業者として身に付けておくべき農作物(特に稲、麦、大豆、茶、転作作物等)の栽培管理及びほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶ。特に、プロジェクト研究における専攻作物については重点的に管理技術の習得を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	ほ場における育苗、栽培管理 農業機械や各種資材具等を使用しての管理実習					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ほ場及び周辺の除草 (2)耕起・整地・代かき・畝立て等作物栽培に必要なほ場管理		
	2 作物栽培管理			(1)作物播種・育苗管理 (2)水管理、施肥管理 (3)生育調査 (4)収穫、燥機、調整作業 (5)品質鑑定 (6)土壌分析による施肥設計 (7)病虫害防除		
	3 特産加工			(1)製茶技術の基礎		
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	作物生産論		教官名	中村 浩一	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	麦・大豆等の主要農作物をはじめ、茶、いぐさ、葉たばこ等の工芸作物についてその生理・生態や栽培方法を学び、作物を栽培するうえで必要とされる基礎的な知識・技術を身につけるとともに、各作物を取り巻く社会的情勢について理解する。					
テーマ及び概要	主要農作物及び工芸作物に関する生理生態、肥培管理、加工利用、流通制度等についての基礎的な知識・技術を身につける。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	作物栽培の基礎(農山漁村文化協会) その他技術資料					
講義 スケジュール	大項目		小項目			
	1 麦	(2コマ)	(1)麦類の特徴と利用 (3)栽培の実際	(2)麦類の一生と成長 (4)流通と経営の特徴		
	2 豆類	(2コマ)	(1)大豆の特徴と利用 (3)大豆栽培の実際	(2)大豆の一生と成長 (4)流通と経営の特徴		
	3 茶	(1コマ)	(1)茶の特徴と利用 (3)茶栽培の実際	(2)茶の一生と成長 (4)茶の加工		
	4 いぐさ	(2コマ)	(1)いぐさの特徴と利用 (3)いぐさ栽培の実際	(2)いぐさの一生と成長 (4)地域の課題と取り組み		
	5 ハトムギ	(1コマ)	(1)ハトムギの特徴と利用 (3)ハトムギ栽培の実際	(2)ハトムギ生育の特徴 (4)地域の課題と取り組み		
	6 タバコ	(1コマ)	(1)タバコの特徴と利用 (3)タバコ栽培の実際	(2)タバコの一生と成長 (4)地域の課題と取り組み		
	7 イモ類	(2コマ)	(1)ジャガイモの特徴と利用 (3)ジャガイモ栽培の実際 (5)サツマイモの一生と成長	(2)ジャガイモの一生と成長 (4)サツマイモの特徴と利用 (6)サツマイモ栽培の実際		
成績評価	評価:定期考査(70%)、出席状況や講義態度(30%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:レポート等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	農特産経営論		教官名	月田 裕人	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	土地利用型作物を中心とした経営の特徴を理解するとともに、経営分析等を行い5年後の経営設計を行う。					
テーマ及び概要	土地利用型作物における経営上の特徴と、経営の実態把握や経営改善のための具体的な取り組み方について理解する。また、パソコンソフトによる経営分析シミュレーションの演習を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本県農業経営指標(熊本県発行) 農林水産省作成のパンフレット等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 土地利用型作物経営の特徴			(1)土地利用型作物経営の特徴 (2)県指標に見る品目別経営収支 (3)国の農業政策の変遷		
	2 経営分析の基礎的な考え方			(1)経営分析の流れ (2)前提条件の把握 (土地条件、土地利用体系、栽培方法、 品種構成、機械化・施設装備、その他) (3)月別作業労働時間 (4)経営収支		
	3 経営改善のための様々な手法			(1)省力、低コスト栽培技術 (2)高収量、高品質栽培技術 (3)加工および直販など		
	4 5年後の経営シミュレーション					
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	農特産ゼミ		教官名	月田 裕人	
	履修学年	2年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	前期 12回 後期 10回
授業形態	講義・ゼミ			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	調査データの取り扱いについて理解を深め、プロジェクト発表や卒業論文の考察に必要な文献の検索と引用ができるようにする。					
テーマ及び概要	試験研究機関等で発表された論文等の内容について討議し、作物に関する知識を深めるとともに、調査データの整理や発表方法に関する基礎知識・技術の向上を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	試験研究機関成績書、成果情報等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 論文形式の文章について			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査データの記録と整理方法 (2)記録したデータの処理方法 パソコンを使ったデータ処理 統計処理やグラフなどの図形作成 写真などの撮影と整理		
	3 試験研究機関の研究成果について			(1)成績書等の内容を理解し発表する (2)多くの論文を読み、研究のまとめ方を学ぶ		
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(花き)		教官名	渡邊 功	
	履修学年	1年	単位数	20単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習 花き生産法人、農大卒業生の花き生産者、地域営農法人等の校外研修・各種研修会					
科目目標 (指導・到達目標)	花きに関する体験的・実践的な学習をとおり、総合的な生産技術や知識を習得させ、経営と栽培管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や課題への対応能力など、より実践的な能力と態度を育成する。					
テーマ及び概要	花きの栽培管理やプロジェクト学習をとおり、栽培管理技術の基礎、収穫物の調整・出荷方法について習得するとともに、プロジェクト学習の進め方について理解を深める。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	校内圃場における栽培管理					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)トルコギキョウ (2)宿根カスミソウ (3)スターチス・シヌアータ (4)ラナンキュラス(鉢物) (5)ラナンキュラス(切り花) (6)シクラメン(鉢物) (7)アジサイの管理(花壇用アジサイ) (8)球根切り花類(カラー、クルクマなど) (9)花壇用苗もの(パンジー、ビオラなど)		
	2 プロジェクト学習の進め方			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データ処理 (5)結果とりまとめ (6)考察		
	3 生産物販売			(1)花き類の収穫方法 (2)鮮度保持剤の使い方 (3)販売時の色あわせ等		
成績評価	出席状況、受講・実習態度 出席状況(70%) + 出席状況・受講態度(30%)などにより総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意: レポートやプリントの未提出、実習への遅刻・早退・欠席、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、指示に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(花き)		教官名	福島 範彦	
	履修学年	2年	単位数	28単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習					
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて、花きの基本的な栽培管理技術やせん定・整枝方法、切り花・鉢物の選花選別などを習得し、農業経営に活用できる力を身に付けさせる。					
テーマ及び概要	花きの栽培管理やプロジェクト学習をとおして、基本的な栽培管理技術や収穫物の調整方法について学習するとともに、花き栽培の経営能力を培う。併せて物事を科学的にとらえ分析する能力も養う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	校内圃場における栽培管理					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)シクラメン (2)トルコギキョウ (3)カーネーション (4)カラー (5)ラナンキュラス・花壇苗		
	2 プロジェクト学習の進め方			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データ処理 (5)結果とりまとめ (6)考察		
	3 生産物販売			(1)花き類の収穫方法 (2)鮮度保持剤・染色剤等の使い方 (3)販売時の色あわせ等		
成績評価	<p>評価:知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する。(100点満点)ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。</p> <p>【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	花き経営論		教官名	福島 範彦	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	本県の花き経営における課題を理解させると共に、経営分析手法の演習により、経営改善への取組法を理解させる。					
テーマ及び概要	花き栽培における経営上の特徴と実態把握や経営改善のための具体的な取り組み方について理解する。 自分の住んでいる地域の農業概況を調べ、気象・土壌条件や、地域農業の特色と問題点を把握する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本県農業経営指標 農業技術体系、花き園芸大百科 花卉園芸学					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 花き生産の特徴	(1)花き経営の特徴 (2)花きの商品性、流通・販売の特徴				
	2 我が町の農業概況	(1)地域概況 (2)農業生産状況 (3)地域農業の動向と問題点				
	3 農業経営について	(1)労働力の把握・役割分担 (2)耕作面積 (3)作付体系 (4)月別労働時間(作物別) (5)作物別生産経費 (6)農業施設・農業機械の整備状況 (7)作物別農業所得				
成績評価	評価:出席状況(10%)、演習での取組状況(30%)や受講態度(10%)、レポート(50%)により総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	花きゼミ		教官名	福島 範彦	
	履修学年	2年	単位数	2単位	講義回数予定	12回・10回
授業形態	演習					
科目目標 (指導・到達目標)	経営実習を通じてのプロジェクト課題の試験調査方法を理解させると共に卒業に向けた卒業論文の作成方法について演習することにより論文の完成と発表力を習得させる。					
テーマ及び概要	プロジェクト学習活動で栽培した花きの特性や成果について調査・取りまとめを行う。同時に、効果的でわかりやすい発表方法を習得する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	草花栽培の基礎 農業技術体系、花き園芸大百科 論文・レポートの書き方					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培に取り組んだ花きの特性について			(1)花きの名称 (2)原産地と来歴 (3)作型と主要品目(県内での栽培状況) (4)生育特性 (花芽分化・休眠・開花特性) (5)栽培管理・病害虫		
	2 プロジェクト学習成果のまとめ			(1)課題名 (2)目的 (3)試験方法 供試品目(品種)・試験区内容・施肥量 耕種概要・栽培の説明 (4)結果 生育調査・収量調査・品質調査 (5)考察 (6)参考資料		
	3 研究成果の要約と発表会の実施					
成績評価	評価:出席状況(20%)、受講態度(30%)、発表やレポートの評価及びレポート・プリント等の提出(50%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	花き生産論		教官名	渡邊 功	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	11回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	花き栽培を行う上で必要な環境制御に係る知識(気象、土壌、病害虫等)を理解し、花き栽培の実践に応用できる能力を身につけることができる。					
テーマ及び概要	花き栽培上必要な環境制御について学び、花きを栽培するうえでの応用力を養う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	草花栽培の基礎、花卉園芸学の基礎					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 花きの種類と分類					
	2 花きの繁殖方法					
	3 育種と品種					
	4 土壌管理			(1)施設・露地花きの栽培土壌の特徴 (2)土壌消毒法		
	5 肥料・土壌改良資材の種類と特徴			(1)肥料(基肥、追肥)の特徴 (2)土壌改良資材の特徴		
	6 土壌診断と施肥			(1)肥料・施肥法と施肥設計 (2)栄養診断		
	7 かん水技術			(1)切り花栽培でのかん水法の種類と特徴 (2)鉢物・花壇苗栽培でのかん水法の種類と特徴		
	8 かん水同時施肥栽培技術			(1)かん水同時施肥栽培の仕組みと方式		
	9 施設における被覆資材の利用			(1)被覆資材の種類と特徴 (2)被覆資材利用の工夫		
	10 施設栽培と環境管理			(1)施設の種類と構造 (2)施設の光環境調節 (3)施設内の温湿度制御		
	11 病害虫防除			(1)耕種的防除 (2)化学的防除 (3)花きの主要病害虫とその防除 (4)天敵を利用した総合病害虫管理(IPM)		
成績評価	<p>評価:講義出席状況、レポート提出状況、筆記試験 定期考査(60%) + レポート・プリント等の提出(20%) + 出席状況・受講態度(20%) などにより総合的に評価する。(100点満点)</p> <p>注意:レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、指示に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5(2023)年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(果樹)		教官名	清水 那子	
	履修学年	1年	単位数	20単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習・演習・校外研修					
科目目標 (指導・到達目標)	年間を通じて、各果樹の生育相を理解させ、それに対応する基礎的な栽培管理技術を習得させる。					
テーマ及び概要	校内果樹園の栽培管理ならびに校外研修(県農研センター果樹研究所、果実利用製造施設)等を通じて、果樹経営に必要な栽培管理の基礎的知識・技術の習得を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	フルーツ&フルーツ(熊本県果実連)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 整枝・せん定			(1)生育期の枝梢管理方法 (2)休眠期の整枝・せん定 (3)カンキツの大苗育苗		
	2 結実管理			(1)人工受粉 (2)摘蕾、摘房、摘果 (3)施設栽培における枝吊り・玉吊り		
	3 施肥・地表面管理			(1)除草、しき草、シートマルチ (2)土壌改良、施肥		
	4 収穫販売			(1)収穫作業・選果 (2)校内販売		
	5 ハウス管理			(1)温度・水分管理 (2)施設管理(被覆、災害対策、補修)		
	6 園地管理			(1)移植・改植 (2)柵の整備・補修 (3)防災対策		
	7 校外研修			(1)県農業研究センター果樹研究所(10回) (2)その他(優良果樹農家視察など)		
成績評価	知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 なお、実習への遅刻・早退・欠席、実習中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(果樹)		教官名	坂本 等	
	履修学年	2年	単位数	28単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)、研究員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	各自が取り組むプロジェクトの品目について、観察や調査により基本的な栽培技術について知識を深めるとともに、天候の変化や病害中発生に対応した的確な栽培管理が行えるようにする。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、果樹の栽培管理やほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶとともに、果樹栽培の経営能力を養う。 特に、プロジェクト研究における専攻樹種については重点的に管理技術の習得を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	校内果樹園における栽培管理 農業機械や各種資材等を利用した管理実習					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ハウス管理 (2)ほ場および周辺の草生管理 (3)ほ場の施設整備 (4)気象災害対策		
	2 果樹栽培管理			(1)結実管理 (2)枝梢管理 (3)土壌管理、施肥 (4)整枝・せん定 (5)収穫・販売 (6)病虫害防除		
	3 プロジェクト研究指導			(1)プロジェクト研究の実施 (2)処理区の調査指導		
成績評価	【評価】出席状況(40%)、レポート提出や履修態度(60%)などにより総合的に評価する。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5(2023)年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	常緑・落葉果樹栽培論		教官名	清水 那子	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち2回は定期試験を含む)	28回
授業形態	講義・実習					
科目目標 (指導・到達目標)	本県で栽培されている主要な常緑果樹及び落葉果樹について、生理生態と生産技術を理解させる。					
テーマ及び概要	常緑果樹及び落葉果樹の栽培管理に必要な専門知識と栽培技術を習得させる。					
使用教材	<p>テキスト・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農学基礎セミナー 新版果樹栽培の基礎(農文協) ・ひと目でわかる果樹の病害虫 第一巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病害虫 第二巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病害虫 第三巻(改定第二版) <p>参考文献</p> <p>フルーツ&フルーツ(熊本県果実連)</p>					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 常緑果樹の栽培管理			(1)カンキツの種類・品種について (2)生育と栽培管理 (3)病害虫・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培		
	2 落葉果樹の栽培管理			(1)主要品種の栽培特性について (2)生育と栽培管理 (3)病害虫・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培 (2)～(6)は主要品種ごとに講義する		
成績評価	<p>定期考査(75%)+小テストの成績およびレポート・プリント等の提出(10%)+出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 なお、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	果樹経営論		教官名	坂本 等	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)、研究員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	本県の果樹経営における課題を理解させると共に、果樹経営における収益力の向上及び安定性の強化に向けた手法を理解させる。					
テーマ及び概要	本県における果樹経営の特徴・課題と、果樹振興施策の狙いを理解する。 果樹経営の発展や安定強化のための経営戦略とマーケティングの考え方、流通環境並びに消費者意識の動向を把握する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本県農業経営指標(熊本県発行) 農業技術大系、農林水産省発行パンフレット、各種Webサイト資料等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 果樹経営の特徴			(1)果樹経営の特徴 (2)県指標に見る品目別経営収支		
	2 経営分析の基礎的な考え方			(1)経営分析の流れ (2)前提条件の把握 (土地条件、土地利用体系、栽培方法、 品種構成、機械化・施設装備、その他) (3)月別作業労働時間 (4)経営収支		
	3 経営改善のための様々な手法			(1)省力、低コスト栽培技術 (2)高収量、高品質栽培技術 (3)加工および直販など		
成績評価	【評価】定期考査(75%)、レポート・プリント等の提出(10%)、出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	果樹ゼミナール		教官名	坂本 等	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)、研究員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト課題の試験調査方法およびデータの取り扱いについて理解を深め、プロジェクト発表や卒業論文の考察にに必要な文献の検索と引用ができるようにする。					
テーマ及び概要	試験研究機関の成果情報などを題材にして、論文の構成や文章の表現方法、調査手法やデータの整理方法などについて学習し、プロジェクト学習で栽培した果樹の特性や調査データの取りまとめおよび考察を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	県農業研究センター果樹研究所等研究成果情報、熊本の果樹					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 論文作成の基礎知識			(1) 論文の構成とまとめ方 (2) 論文の書き方		
3 調査資料のまとめ方			(1) 調査データの記録と整理方法 (2) 記録したデータの処理方法 1) パソコンを用いたデータ処理 2) グラフなどの図形作成 3) 写真整理			
成績評価	【評価】出席状況(20%)、レポートやプリント等の提出および発表やレポートの評価(50%)、受講態度(30%)などにより総合的に評価する。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(野菜)		教官名	加久正見、宮本陽造	
	履修学年	1年	単位数	20単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習形式・販売・コース別研修・栽培当番・加工・機械・農家派遣研修			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	実習によって、野菜の栽培技術の基本について学習し、プロジェクト学習が実施できるような技量を身につける。また、試験研究の進め方の重要性を習得し、秋作からは本格的なプロジェクト課題を設定し、実施する。コース別研修では、最新の栽培技術等について現地研修を行う。栽培当番は土日祝日の栽培管理を当番制で行う。加工・機械・農家派遣研修は別途通知。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本の野菜					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1	栽培管理技術の習得		(1)メロン (3)トマト (5)スイートコーン (7)サトイモ	(2)スイカ (4)イチゴ (6)タマネギ (8)ニンニク	
	2	試験研究の進め方 (プロジェクト学習)		(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データの処理 (5)結果取りまとめ (6)考察		
	3	生産物販売		(1)各種野菜の選果方法及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
	4	コース別研修		(1)熊本県農業研究センター視察 (2)現地視察		
	5	栽培当番		(1)かん水当番 (2)ハウス内環境調査記録 (3)トンネル開閉など		
成績評価	知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する。(100点満点)ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(野菜)		教官名	浴野祥予・稲田達則	
	履修学年	2年	単位数	28単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の基本的な栽培管理技術や選果方法、消費状況の把握などをプロジェクト学習で行い、経営感覚を育てる。					
テーマ及び概要	野菜の栽培管理やプロジェクト学習をとおして、基本的な栽培管理技術や選果方法、消費状況の把握、試験研究の進め方の重要性及び経営感覚の習得を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本の野菜					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)アールスメロン (2)スイカ (3)トマト (4)ミニトマト (5)ナス (6)イチゴ (7)キュウリ (8)ピーマン など		
	2 試験研究の進め方 (プロジェクト学習)			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データ処理 (5)結果とりまとめ(図表作成) (6)考察		
	3 生産物販売			(1)各種野菜の選果方法及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
成績評価	出席状況(40点)、履修態度(30点)、修得技術・レポート等(30点) 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜栽培各論		教官名	加久 正見	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式、セルフワーク			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の栽培に必要な知識を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	各種野菜について、来歴、形態及び生理・生態的特性、品種・作型、栽培管理方法などについて学習する。 各論では、野菜の中でも熊本県の主要野菜(トマト・スイカ・メロン・イチゴ・ナス)の5品目について理解を深める。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	野菜栽培の基礎、熊本の野菜					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 トマトの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	2 イチゴの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	3 メロンの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	4 スイカの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	5 ナスの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
成績評価	<p>評価割合: 講義出席状況(3分の2以上の出席のないものは成績評価の対象にしない)、講義への取り組み状況(20%)、ノート提出内容(20%)、定期試験(60%)</p> <p>注意事項: ノートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜経営論		教官名	浴野祥予・稲田達則	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	経営の内容を把握する能力を育てる。					
テーマ及び概要	野菜に係る必要経費が把握でき、儲かる野菜経営を目指す視点を得る。 プロジェクトに係る経営について学び、まとめることができる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本県農業経営指標					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 野菜に係る経営概況			(1)熊本県の主要品目の概況 (2)農業生産状況 (3)必要な経費の状況		
2 プロジェクトに係る経営概況			(1)作付けの状況 (2)耕作面積 (3)作付体系 (4)月別労働時間(作物別) (5)作物別生産経費 (6)農業施設・農業機械の整備状況 (7)作物別農業所得 (8)農業経営の問題点把握			
成績評価	講義出席状況(30点)、演習での取組状況(30点)、レポートの内容(40点) 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜ゼミ		教官名	稲田達則・浴野祥予	
	履修学年	2年	単位数	各1単位	講義回数予定	I:12回 II:10回
授業形態	講義および演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習における成果のとりまとめおよび発表の能力を高める。					
テーマ及び概要	自分が栽培した野菜の特性やプロジェクト成果について発表し、質疑応答を通じて、研究課題を掘り下げて考察する。 同時に、効果的でわかりやすい発表方法を習得する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	熊本の野菜, 新版理系のためのレポート論文完全ナビ					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	I 栽培に取り組んだ野菜の特性について			(1)作型と主要品目(県内での栽培状況) (2)性状と生育特性 (花芽分化・休眠・肥大特性) (3)栽培管理・病害虫防除・発生しやすい生理障害と対策 (4)栄養成分・機能性・用途		
II プロジェクト学習の成果とりまとめ手法について			(1)課題および目的 (2)各種調査のふりかえり 供試作物(品種)・試験区内容・施肥量・耕種概要・栽培の経過 (3)調査結果に基づく図表作成について 生育調査・収量調査・品質調査 (4)理系論文形式のポイント (5)中間発表 (6)参考資料の探し方と活用法、考察			
成績評価	出席状況、発表や質疑応答への参加状況、中間報告・発表の内容 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	畜産経営実習 (酪農)		教官名	古田 雅子	
	履修学年	1年	単位数	20単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習					
科目目標 (指導・到達目標)	実際の乳牛の飼育体験を通じて、搾乳や飼養管理全般について理解し作業を行うことができ、その観察眼を養う。					
テーマ及び概要	乳用牛の飼養管理やプロジェクト学習を通して基本的な管理技術や繁殖管理の重要性及び経営感覚の習得を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	管理マニュアル					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 乳用牛の飼養と繁殖の管理技術			(1)搾乳技術 ア 機械の取り扱い イ 乳房炎の予防技術と治療 (2)飼料調製・給与 ア カッティングミキサーの取り扱い イ TMRの調製法と搾乳牛の栄養管理 ウ 乾乳期の栄養と飼養管理 エ 哺育・育成牛の管理 (3)牛の手入れ ア 毛刈り、削蹄、除角 (4)分娩管理 (5)牛のBCSの見方 (6)発情鑑定 (7)直腸検査		
	2 粗飼料生産と貯蔵技術			(1)トウモロコシの植え付け (2)圃場管理 (3)サイレージ調製		
	3 酪農経営管理技術			(1)個体乳量、乳成分調査 (2)フリーストール牛舎の管理 (3)管理用機械器具の保守点検		
	4 家畜糞尿処理技術			(1)堆肥化処理技術 (2)活性汚泥法		
	5 乳用牛の見方			(1)乳用牛の審査 (2)乳用牛の見方		
	6 プロジェクト学習					
成績評価	知識・技術、履修態度をそれぞれ30点、出席状況を40点で評価し、合計値を評点とする。ただし、経営実習の出席率が90%未満の者は評点を0点とする。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	畜産経営実習(肉用牛)		教官名	安武 美由起	
	履修学年	1年	単位数	20単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜に関する実践的な学習を通じ、総合的な生産技術や知識を習得させる。このことから、経営と飼養管理技術が深まり、管理能力や課題への適応能力を身につけることができる。					
テーマ及び概要	肉用牛の飼養管理やプロジェクト学習をとおして、繁殖・育成技術、肥育技術を学び、より実践的な経営技術を修得する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	各教科テキスト					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1	肉用牛の飼養管理技術		(1) 日常的な畜舎清掃と飼養管理 (2) 飼料配合計画と給与管理 (3) 繁殖牛の飼養管理 (4) 肥育牛の飼養管理 (5) 子牛・育成牛の飼養管理		
	2	粗飼料生産と貯蔵技術		(1) 飼料の植え付け (2) ほ場の管理 (3) 収穫とサイレージ調製		
	3	肉用牛の経営管理技術		(1) 発育状況調査(測尺・測重) (2) 鼻環装着、耳標装着 (3) 去勢・除角・削蹄・疾病対策 (4) 超音波診断 (5) 飼料計算と飼養計画作成		
	4	肉用牛の見方		(1) 各家畜の解剖的な違い (2) 各家畜の行動の特徴		
	5	繁殖技術		(1) 発情鑑定 (2) 直腸検査 (3) 人工授精 (4) 妊娠鑑定 (5) 分娩看護		
	6	プロジェクト研究		(1) 課題設定と計画 (2) データ収集		
成績評価	知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する。ただし、出席率が90%未満の者は評点を0点とする。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	畜産経営実習(肉用牛)		教官名	中村 理樹	
	履修学年	2年	単位数	28単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習形式			実務経験内容	獣医師	
科目目標 (指導・到達目標)	肉用牛の飼養管理や飼料生産等の実習を通じ、家畜に関する基本的な知識や技術を修得させる。また、各自課題解決のためのテーマを設定し、プロジェクト学習に取り組む。					
テーマ及び概要	肉用牛の飼養管理やプロジェクト学習を通して、繁殖・肥育牛管理、特に、栄養管理の重要性及び経営感覚の習得を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	各講義で使用するテキストと教材					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 肉用牛の飼養と繁殖の管理技術			(1)肉用牛の飼料計算 ア 繁殖牛におけるエネルギー充足率 イ 肥育牛におけるエネルギー充足率 ウ 哺育, 育成牛におけるエネルギー充足率 (2)飼料調製・給与 ア 繁殖牛の飼養管理 イ 肥育牛の飼養管理 ウ 哺育, 育成牛の飼養管理 (3)牛の手入れ ア 削蹄, 除角 (4)分娩管理 (5)牛のBCSの見方 (6)発情鑑定 (7)直腸検査		
	2 粗飼料生産と貯蔵技術			(1)イタリアン乾草調製 (2)圃場管理		
	3 肉用牛経営管理技術			(1)肉用牛測尺・測重 (2)牛舎の管理 (3)機械器具の保守点検		
	4 家畜糞尿処理技術			堆肥化処理技術		
	5 繁殖牛の見方			(1)繁殖牛の審査 (2)繁殖牛の見方		
	6 プロジェクト学習					
成績評価	評価: 知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	家畜飼養管理		教官名	川上 純史	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	家畜飼養管理に関する基礎的な学習を通じ、畜産物の生産技術や家畜の環境に対する適応性等の知識を修得させ、飼養管理技術と課題への適応能力を身につける。					
テーマ及び概要	家畜の適切な飼養管理技術の基本を修得させる。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	配布資料 畜産関係文献					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1	家畜管理学の基本理念		(1)	家畜の管理と家畜管理学	
				(2)	畜産経営と家畜の管理	
	2	家畜と環境		(1)	環境要因と環境の分類	
				(2)	環境に対する家畜の適応反応	
	3	熱環境と家畜の反応	その1	(1)	家畜の生産における熱環境の意義	
				(2)	家畜の体温と体温調節機能	
	4	熱環境と家畜の反応	その2		体温調節の機序	
	5	熱環境と家畜の生産	その1		熱環境と家畜の生産	
	6	熱環境と家畜の生産	その2		防暑対策と防寒対策	
7	家畜の飼養管理方法	その1	(1)	牛の衛生対策		
			(2)	初乳の重要性と哺育期の管理		
8	家畜の飼養管理方法	その2		乳牛の日常管理		
9	家畜の飼養管理方法	その3		肉牛の日常管理		
成績評価	<p>評価: 定期試験成績(80%)、講義の出席状況および履修態度(20%)により評価する。 注意 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	家畜衛生論		教官名	中村 理樹	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式・プロジェクター(パソコン)・DV			実務経験内容	獣医師	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜の飼養管理における衛生対策の重要性を理解させ、生産性向上のための基礎知識を習得させる。					
テーマ及び概要	家畜の健康のため、疾病発生メカニズムの概要と予防について理解するとともに、食品の安全性確保のため、生産段階における飼養衛生管理の重要性について学習する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	家畜衛生の教科書、飼養衛生管理基準に関する資料 家畜衛生に関する文献や資料					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 疾病の種類、家畜衛生の歴史について	(1) 疾病の分類 (2) 家畜衛生の歴史				
	2 国内家畜防疫、国際家畜防疫について	(1) 家畜伝染病予防法 (2) 国際防疫				
	3 飼養衛生管理基準について	(1) 飼養衛生管理基準				
	4 HACCP、GAPについて	(1) 農場HACCP (2) 畜産GAP				
	5 消毒、ワクチンについて	(1) 畜産分野の消毒 (2) 家畜用ワクチンとワクチネーションプログラム				
	6 搾乳、放牧衛生について	(1) 搾乳の仕組みと搾乳衛生 (2) 放牧の管理、衛生、疾病				
	7 口蹄疫、牛伝染性リンパ腫について	(1) 口蹄疫に対する防疫 (2) 牛伝染性リンパ腫に対する防疫				
	8 高病原性鳥インフルエンザ、豚熱について	(1) 高病原性鳥インフルエンザに対する防疫 (2) 豚熱に対する防疫				
	9 家畜の中毒と飼料の安全性について	(1) 家畜の中毒について (2) ポジティブリスト制度について				
	10 家畜の輸送について					
成績評価	評価: 定期考査(80%)、講義の出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。 注意事項: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。					

令和5年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	飼料作物学		教官名	古田 雅子	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	11回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	飼料作物の草種毎の特性、栽培方法に必要な基礎知識を理解させ、地域に適合した合理的な栽培技術を修得させる。					
テーマ及び概要	飼料作物の種類や特性、栽培・利用方法等の基本と自給飼料生産の意義を学習する。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	配布資料 畜産関係文献					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 飼料作物と畜産			世界及び日本における飼料作物の現状		
	2 飼料作物の種類 その1			(1)飼料作物の分類		
	3 飼料作物の種類 その2			(1)青刈作物 (2)栽培方法		
	4 飼料作物の種類 その3			イネ科牧草の種類と特性		
	5 飼料作物の種類 その4			(1)マメ科牧草の種類と特性 (2)マメ科飼料作物の共生窒素固定		
	6 飼料作物の種類 その5			飼料作物の栄養生理		
	7 飼料作物の利用 その1			サイレージ ア サイレージの飼料的特性 イ サイレージの調製理論 ウ サイレージの調製法 エ サイレージの品質評価		
	8 飼料作物の利用 その2			乾草 ア 乾草の飼料的特性 イ 乾草の調製法 ウ 乾草の品質評価		
	9 飼料作物の利用 その3			放牧 ア 放牧の種類 イ 放牧の特徴 ウ 放牧の実際		
成績評価	定期試験成績 + 講義の出席状況および履修態度により評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	畜産ゼミ		教官名	川上 純史 中村 理樹	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定	前期12回
授業形態	講義及び全体討議			実務経験内容	獣医師	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて、自ら課題を設定し問題解決のための取り組みと検討を行うことにより、PDCAの手法を身につける。					
テーマ及び概要	プロジェクト研究を通して、経営の中で解決できる課題の設定と検討を行うことにより、より専門的な経営技術を学ぶ。 学習は個別学習と発表、全体討議による。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	各講義で使用するテキストと教材 畜産関係文献					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 プロジェクトの概要について			(1) 課題設定と研究目的 (2) 計画作成と期限設定 (3) 調査研究項目の検討 (4) データの収集と整理 (5) データの分析と検討		
2 全体討議			(1) 発表スライド及び発表原稿の作成 (2) 成果発表と討議			
成績評価	評価:出席状況及び態度、提出物により総合的に評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	無人ヘリコプター操作研修		教官名	石野 慎祐 内川 博統 中 文久	
	履修学年	1学年 希望制 2年年 1年時 中級合格者の うち希望制	単位数	中級1・上級 合格者は、そ れぞれ資格 加算 1単位	講義回数	初級 : 6回 中級1: 6回 中級2: 6回 上級 : 9回
授業形態	実習形式 1年生:初級コース、中級コース1・2 2年生:上級コース					
科目目標 (指導・到達目標)	正確な始動・停止、安全確認ができる。安定したホバリング飛行ができる。 定点移動飛行を安定して行える。 散布パターン飛行を安定して行える。 複数の散布パターン(民間資格レベル)の飛行を行える 上級コース					
テーマ及び概要	近年、土地利用型作物の新防除技術として、ドローンの導入が進みつつあるが、無人ヘリ防除は、まだ大部分を担っている。そのため、オペレータ(操縦者)の人材育成は、依然として必要な状況にある。 本校学生を対象に、無人ヘリコプターの利用方法及び基本操作等の習得を目指した講義及び実習を行い、数少ない無人ヘリ講習機関として、オペレーターの育成を図る。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	RC(ラジコン)ヘリコプター一式、RCヘリ専用燃料、トレーニング台、 トレーナーコード、パソコンシミュレーター ヤンマースカイスクールテキスト					
講義スケジュール 各コース下記日程 のうち各6日間 初級コース 7月14日～8月1日 (予備日迄) 中級1コース 9月25日～10月11 日(予備日含) 中級2コース 12月8日～25日(予 備日含) 上級コース 11月6日～1月22日 で9日間 見極日程が3日間含 まれる。 ヤンマースカイス クール(ミドルコース: 前後進飛行) 令和6年2月上旬頃 予定	大項目			小項目		
	初級	1. 無人ヘリコプターについて		産業用無人ヘリの利用状況概要		
				航空力学とヘリコプターのしくみ		
		2. RCヘリコプターの操作について		RCヘリコプターの基本操作		
	RCヘリコプターの作動確認・始動・停止手順					
	トレーニング台による操作練習					
	3. ホバリング飛行技術の習得		ホバリング飛行練習(トレーナー教習、補助脚付)			
			左右及び前後移動飛行練習(トレーナー教習)			
	中級1	4. 移動飛行(短距離)技術の習得		定点(前後左右)移動飛行(トレーナー教習)		
				長距離定点移動飛行(トレーナー教習)		
中級2	5. 移動飛行(長距離)技術の習得		散布パターン飛行(補助脚なし、トレーナー教習)			
			単独飛行による散布パターン飛行(補助脚なし)			
上級	6. 移動飛行(圃場設定)技術の習得		単独飛行によるホバリングM飛行(補助脚なし)			
			産業用無人ヘリの基本的な取扱い			
	7. 産業用無人ヘリの取扱い		産業用無人ヘリの作動確認・始動・停止手順			
産業用無人ヘリの作動確認・始動・停止手順						
成績評価	出席・受講状況、 実技試験 作動確認・始動・停止手順等、ホバリング、 定点移動、 散布パターン (単独散布パターン、単独ホバリングM:講師による採点) 注意: レポート、プリントの未提出、講義への遅刻、早退、欠席、講義中の居眠り、私語 及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合は、欠席扱いとする。					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	ドローン・マルチコプター操作研修		教官名	石野 慎祐、深嶋 ひとみ 委託事業者	
	履修学年	1学年の希望制 希望者が定員20名を超える場合、事前提出のレポート内容で選抜	単位数	中級合格者は資格加算1単位	講義回数 (初級と中級の2段階)	初級：2回 中級：4回
授業形態	実習形式(初級コース、中級コースの2段階)					
科目目標 (指導・到達目標)	関係法令を理解し、事故や違反を起こさず、安全に飛行させるために必要な基礎的な知識を習得する。 ドローンの基本的な操作ができるようになる。					
テーマ及び概要	近年、先端技術を活用し、省力化や大規模生産、品質の向上等を目指すスマート農業が推進されている。 スマート農業の1つとして取り組まれているドローンについて、その活用方法や基本操作方法等の習得を目指して講義及び実習を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	小型ドローン(GPS無)一式 小型ドローン(GPS有)一式 委託事業者作成のテキスト及び農業用ドローン					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	初級	1. ドローンの基礎(座学) 筆記試験あり		<ul style="list-style-type: none"> 産業用ドローンの活用状況 関係法令 基本仕様の説明 メンテナンス 安全教育 		
		2. ドローンの基本操作(実技)		<ul style="list-style-type: none"> 基本操作の習得 		
	中級	3. ドローンの操作(実技) 実技試験あり		<ul style="list-style-type: none"> 操作方法の習得 		
4. ドローンの活用(実技)		<ul style="list-style-type: none"> 撮影飛行講習 画像編集 				
成績評価	<p>出席・受講状況及び初級は講義に基づく筆記試験・基本操作技術、中級は定点移動飛行等実技試験により評価する。</p> <p>注意：レポート、プリントの未提出、講義への遅刻、早退、欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用は減点とする。 特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合は、欠席扱いとする。</p>					

令和5年度(2023年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	ドローン・マルチコプター操作研修		教官名	石野 慎祐、深嶋 ひとみ 委託事業者	
	履修学年	2学年希望者 1年生時中級 合格者	単位数	合格者は資格加算 1単位	講義回数	上級:6回
授業形態	講義及び実習形式					
科目目標 (指導・到達目標)	関係法令を理解するとともに、農業用ドローンを事故や違反を起こさず、安全に飛行させるために必要な知識を習得する。 農業用ドローンの基本的な操作ができるようになる。					
テーマ及び概要	近年、先端技術を活用し、省力化や大規模生産、品質の向上等を目指すスマート農業が推進されている。 そこで、スマート農業の1つとして取り組まれているドローンについて、操作方法や農業における活用方法の習得を目指した講義及び実習を行う。					
使用教材 テキスト・教材 参考文献	小型ドローン(GPS有)一式 委託事業者作成のテキスト及び農業用ドローン					
講義スケジュール 上級 (合計12コマ) 9月4日午後 9月6日午後 9月7日午後 9月8日午後 9月11日午後 9月13日午後 予備日9/26午後	大項目			小項目		
	上級	1. 農業用ドローンの基礎(座学・実技) 筆記試験あり		・関係法令 ・農薬の使用方法 ・ドローンの基本操作の復習		
		2. 農業用ドローンの操作(実技)		・農業用ドローンの基本操作 ・農業用ドローンを使った散布訓練 ・農業用ドローンを使った定点移動訓練		
		3. 実技試験		農業用ドローンによる定点散布移動飛行実技試験		
成績評価	出席・受講状況、筆記試験及び実技試験により評価。 注意: レポート、プリントの未提出、講義への遅刻、早退、欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用は減点とする。 特に、スマートフォンについては、注意に従わない場合は、欠席扱いとする。					